



幕末財宝伝

2013年9月15日(日)～10月31日(木)
場所：萩市城下町界隈



本年度、社会開発委員会では「幕末財宝伝 解き明かせ！

晋作が残した手紙」を9月15日(日)～10月31日(木)までの1ヶ月半、萩市城下町界隈において行いました。

この「幕末財宝伝 解き明かせ！晋作が残した手紙」は、近年劇的に変化している国内観光ニーズに適応した観光手法を提案しようと企画しました。観光名所を見てもらうだけ、お土産を買ってもらっただけの観光ではなくなってきている現状を踏まえ、ゲーム感覚で楽しみながら観光出来る宝探しの事業を行いました。

事業を行うにあたり、初日の9月15日には12時半から萩博物館講座室においてオープニングイベントを開催しました。萩市長、萩市教育長、萩市観光協会会長をご来賓としてお招きし、100名を超える参加者も集まり、盛大にスタートを切る事が出来ました。ご来賓を代表して野村市長にお言葉を頂いた後に事業説明をし、参加者には地図を片手に宝探しに行っていました。オープニングイベント限定の演出として、観光パフォーマーの方々が城下町の至る所で紙芝居などをしたり、JCメンバーが奇兵隊に扮し城下町をパレード、そして萩にゃんとなつみちゃんの2体のゆるキャラも登場し、オープニングに華を添えて頂きました。15時からは田中大将広場にて抽選会を行い、オープニングイベントを締めくくりました。

翌日の9月16日(月)～10月31日は、参加希望者に萩博物館・各道の駅・萩市観光協会へ地図を取りに行ってもらい、各々で城下町を散策しながら謎を解いて頂きました。期間中には数百名の方に参加して頂きました。参加者からは概ね「参加して楽しかった」「次回このようなイベントがあれば参加します」「萩の新たな発見があった」などの意見を頂き、委員会一同大変嬉しく思いました。

最後にオープニングイベントにご臨席頂いたご来賓のお三方、オープニングイベントの演出にご協力頂いた観光パフォーマーの皆様とJCメンバーの皆様、そして事業期間中を通してご協力頂いた城下町界隈の関係各所の皆様に御礼を申し上げます。有り難うございました。

社会開発委員会 委員長 松本 俊孝

